

# 気になるフィオーレ喜連川人

## フィオーレ喜連川&FIORE DIGITAL

### 一年間の歩み



## one for all all for one

鈴木守夫さんはフィオーレソフトボールクラブの監督としてチームを率いる。一体どんなチームなのか? 部員は18人。3、40代が1人ずつ、50代が6人、60代が5人、70代が5人! 平均年齢は59歳! なんと76歳の方も現役で活躍されている! しかも今年チームのピンチを救うヒットも打ったというから驚きだ。「年寄りも元気なチーム。私が入部した11年前は30名以上部員がいたの。年々減ってきている。その理由はやはり高齢だからというの大きい。」チームを引き継いだときはすでにその問題があり、試合に出ても勝ち進むことが厳しい状況が続いていた。部員の中には「大会参加はもうやめよう。」と声を上げる者もあり、「一生懸命練習しているのに始めから棄権するのはおかしい。」と反対する者との間で意見が割れた。「オレが監督になったからには全部の大会に出る!」監督として、練習の

為の練習ではなく成果を発揮する場として試合出場することにこだわりチームを引っ張った。そうして今年で4年目。チームの雰囲気は和やかで、まとまりがあるという。部員のみんな本当に懐が深い。監督として私の意見を尊重してくれる。だから和気あいあいとやれる。「そんな監督には当初より心がけていることがある。追えばとれるボールだと思っても、なんで取れないんだ!」という声は絶対にかけない。「頭から叱りつけることはしたくない。自分で気が付いてもらいたいという想いがあるから。」その人の精一杯を尊重する。ソフトボール未経験者に対しても、いきなり容赦なくバッターボックスに立たせ、ルールがわからなくても守備をやらせる。「体で覚える」が鈴木流。でもできないことを叱らない。できないことを叱らない。たくさん失敗して思い切り楽しんでこそうまくなっ

いく。個人を尊重する姿勢は練習においても同じだ。練習に中々顔を出せず3か月ぶりにやってきたメンバーにもまるで先週会ったかのように接する。大歓迎はしない。あくまでも自然体。次回練習の告知もいちいちしない。ふらつと行くといつも顔、自分の居場所がある。その気の置けなさが心地よい。チームの雰囲気づくりも監督の役目なのだ。長く休んでいるメンバーにもちよく声をかける。「あくまでも休んでいるだけ、辞めたのではないから。」彼らがいつ復帰してもいいよう居場所を作っている。無理はさせない。「監督っていうのは、みんながいて監督だから。」だから部員仲間を尊重する。そんな監督の理想のチームとは? 「有り余るほどの部員がいて、お互いに切磋琢磨できる環境があること。」さあ、あなたも一緒に汗を流してみませんか? 記事: 大河原千晶

昨年11月、温泉ライダーでの生放送をきっかけとして始動したFIORE DIGITAL。当初は文字放送と化していた9チャンネルで、定期的に地域の情報を発信する事を目的に始まった。昨年末以降、Catvや広報紙の発行、ホームページの開設などでPR活動を推

進していく中、フィオーレ喜連川という町自体にも今後を占うような大きな変化があった。今回は総集編として、そんなフィオーレにとって飛躍の2014年を振り返りたい。

### 年間表

|                                  |                        |                  |           |                               |                              |  |   |
|----------------------------------|------------------------|------------------|-----------|-------------------------------|------------------------------|--|---|
| 11月                              | 9月                     | 8月               | 7月        | 6月                            | 5月                           | 4月   | 1月                                      |
| 温泉ライダーin SAKURA開催<br>フィオーレ初の市議誕生 | ホームページ開設<br>フリーマーケット開催 | 地域交流イベント「ちるころ」開始 | ゾーン30施行決定 | まちなみコンクール表彰式<br>「住まいのまちなみ賞」受賞 | 足湯サービス開始<br>no name cafeオープン | 自治会・管理組合共用事務局発足<br>地区計画実施<br>CATV番組の氏家駅待合室での視聴開始 | CATV広報紙「FIORE」スタート<br>栃木県初! まちなみコンクール入賞 |

